

## 青山インフォメーション・サイエンス編集に関するガイドライン

(2024 年 4 月 10 日改訂：情報メディアセンター運営執行会議承認)

第1条 このガイドラインは、青山学院大学情報メディアセンター（以下「センター」という。）規則第3条第1項第8号に定める研究報告書の刊行に関して定める。

第2条 名称 研究報告書の名称を「青山インフォメーション・サイエンス（青山学院大学附置情報メディアセンター紀要）」（以下紀要という）と称する。

第3条 目的 紀要は、情報科学、学習科学、教育工学の分野における研究、教育の活性化を図ること、また諸分野における応用、実用面を充実させることを目的とし、広い意味での情報を取り扱う諸分野に貢献するものでなくてはならない。

第4条 投稿原稿の種類 紀要は以下の原稿の種類に基づいて構成する。

- (1) 論文／Regular Papers
- (2) 総論／Review Papers
- (3) 研究ノート／Short Papers
- (4) 資料・解説
- (5) 報告
  - ア 研究プロジェクト報告
  - イ 教育研究支援プロジェクト報告
  - ウ センターの活動ならびに状況に関する報告
  - エ その他
- (6) 寄稿

第5条 編集委員会 センターに、紀要発行に関して必要な業務を遂行するため編集委員会を置く。

2 編集委員会の委員は以下の通りとする。

- (1) センター所長
- (2) センター副所長
- (3) センター専任所員より若干名

3 編集委員会の委員長は、前項第1号の委員がこれを担う。

4 編集委員会は、投稿原稿の掲載の可否を審議する。また、掲載予定の原稿全てにおいて、投稿者に修正を求めることができる。

5 編集委員会は紀要の発行のため以下の業務を行う。

- (1) 紀要の内容の企画や装丁についての検討
- (2) 紀要の発行・配布に関する作業日程などの調整
- (3) 投稿原稿の掲載の可否の審議
- (4) その他紀要発行に関して必要な作業

第6条 原稿の内容 原稿の内容は第3条に定める目的に係する研究論文とする。また、論文の連載は認めない。

第7条 投稿資格者 紀要の投稿にあたっては、著者のうち1名は必ず、学校法人青山学院が設置する学校の専任教職員でなければならない。

第8条 著作権 原稿を本紀要に投稿し、紀要に掲載された著作物（以下、本著作物）の著作権は、原則として著作者に帰属する。

第9条 一般公開の承諾 原稿の本紀要への投稿をもって、本著作物について青山学院大学図書館による複写・複製（デジタル化）、および目次情報と本文データの図書館ウェブサイト等で一般公開されることを、著作者が承諾したものとみなす。

第10条 発行 紀要は年1回発行する。ただし必要と認められた場合には増刷を発行することができる。

第11条 原稿の装丁 原稿の装丁については編集委員会において別に定める。

第12条 費用 紀要の原稿料は原則として支払わない。  
2 著者には完成図書を配布する。

第13条 配布 配布先は学内の教員及び事務部署と学外の大学等とする。

第14条 事務 紀要の発行にかかる事務は学術情報部情報学習課が行う。

第15条 改廃手続き 本ガイドラインの改廃にあたっては、センター運営執行会議の議を経て、センター所長がこれを行う。